

ついて審査を行った都市環境委員会では、ぬくもりの木道の撤去後の散策道の再整備について質問し、撤去後に現地調査を行い、バリアフリー化が必要な区間については、木道の再整備を計画したいと考えているとの答弁がありました。

条例

市民交流プラザ内にある各施設の使用料などを定める市民交流プラザ条例の制定、消防団員の処遇改善を図るため、職務報酬額を引き上げる消防団員給与条例の一部改正など、4件の条例制定・改正案を可決しました。

市民交流プラザ条例について審査を行った経済厚生委員会では、キッチンスタジオの使用料に関し、公民館の料理講座室の使用料との違いについて質問し、公民館の使用料は、施設の使用料と附属設備の使用料を分けて設定されているが、キッチンスタジオの使用料は、施設の使用料に附属設備の使用料も含めて設定したため、公民館使用料と大きな差はないと考えているとの答弁がありました。

消防団員給与条例の一部改正について審査を行った総務文教委員会では、これまでの職務報酬額の改定の経過について質問し、平成

14年に交付税単価を参考に引き上げたがそれ以降、交付税単価は引き上げられたものの、当時の市の財政状況に鑑み、据え置いていたとの答弁がありました。

議決

環境センターのごみ処理施設における焼却炉以外の基幹的設備を更新するための工事請負契約の締結と、公共工事設計労務単価の上昇により、新労務単価を反映したものとするための（仮称）本町アパート市民交流プラザ新築工事請負契約に係る契約金額の変更の2件の議決議案を可決しました。

（仮称）本町アパート市民交流プラザ新築工事請負契約に係る契約金額の変更について審査を行った都市環境委員会では、新労務単価を反映したことによる契約金額の増額分については、建設労働者に支払われる賃金についても適切に反映されるよう請負業者に指導してほしいと要望しました。

陳情

「地球社会建設決議に関する陳情の件」、「大村市障害福祉課の処分

に関する監査要請の陳情の件」、「道路整備に関する陳情の件」の3件の陳情が提出され、それぞれ所管の常任委員会で検討を行いました。

意見書

「労働者保護ルールの見直し」に関する意見書

労働者が安心して働くことができるように、労働規制の緩和に慎重に対応し、雇用の安定に十分配慮するとともに、雇用・労働政策に係る議論は、ILOの三者構成主義にのっとり行うよう国に対し、意見書を提出しました。

未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要で、子どもたちや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につながる必要があるため、義務教育費の負担率を2分の1に還元することを含め、義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう国に対し、意見書を提出しました。

◆主な補正予算の事業

- ◆子育て支援センター活動費…912万 3,000円
現在、こどもセンター内にある子育て支援センターを市民交流プラザ内のこども未来館に移転し、子育て支援事業を実施するもの。
- ◆消防団運営事業…693万 1,000円
消防団員の処遇改善を図るため、職務報酬額や退職報酬金の引き上げを行うとともに、新たに救命胴衣、耐切創性手袋等を計画的に配備するもの。

◆5月臨時会

平成26年5月7日、臨時会が開催され、長崎自動車道木場スマートインターチェンジの建設に伴う側道の付け替えや、高速道路の本線をまたぐ橋梁などの施工に関し、事業者と協定を締結する議決議案を可決しました。

審査を行った都市環境委員会では、木場スマートインターチェンジの整備にあわせて、大村インターチェンジについても高速バス停留所の利便性向上とバリアフリー化を早急に検討すべきとの意見が出されました。